

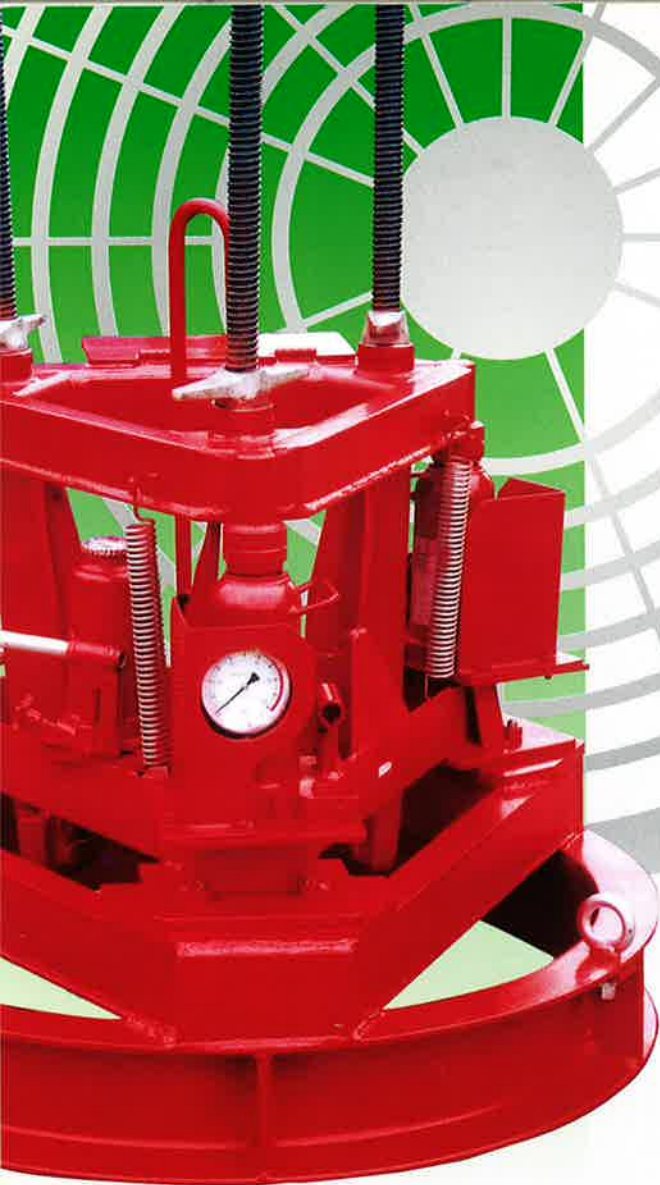
Lift & Build  
MAINTENANCE SYSTEM

LB

鉄蓋のメンテナンスのために開発した、  
合理的・経済的なNEWシステム。



LB工法



※ 夜間施工の様子①



※ 夜間施工の様子②

## マンホール鉄蓋のかさあげ・ 交換工事を合理的に、 しかも施工性・経済性に 優れたLB工法で実現。

### ● LB工法は・・・

#### 合理性

円形で小さな施工面積、ガラなどの廃棄物が少量となり、低騒音で環境に配慮した工法です。また、連続した現場でも、1ヶ所ずつ完了し、交通解放していくことができます。

#### 施工性

コンパクトなフレームリフターと専用器材を使うため、作業は高さ調整等、簡単な操作で済み、施工性及び安全性に優れています。

#### 経済性

少人数による短時間作業、小規模の器材による施工が可能のため経済的です。流動性に富む、無収縮、超速硬の専用モルタルによって受枠の下部全体が調整ブロックと一体化した構造となるため、耐久性が向上します。

#### 日進量

**3～5ヶ所/日**  
フレームリフターを用いて受枠撤去。GMモルタル、特殊常温合材を使って復旧。

#### 交通開放 (一箇所につき)

開始してから  
**2時間**以内に開放可能。

#### 耐久性 (圧縮強度)

GMモルタル  
**1時間12N/mm<sup>2</sup>以上**  
特殊常温合材との組み合わせにより路面下10mmまで打設可能。

#### 道路占用面積

**小**  
必要車輛  
4tユニック×1台  
2tダンプトラック×1台

#### 施工面積

**小**  
円形で目立たない。

#### 騒音

**小**  
舗装せん断施工により、受枠引上げ時無騒音。

※温度条件、施工条件により数値は変動することがあります。

# LB工法 標準施工方法

MAINTENANCE SYSTEM

## 1.遮断プレートの取付け



鉄蓋を取り外した後、遮断プレートを取付けます。

## 2.フレームリフターの設置



予め受枠を中心とした位置をマーキングしその位置にフレームリフターを設置します。

## 3.受枠の引上げ



フレームリフターを操作し、油圧ジャッキにより受枠を引上げます。

## 4.受枠の撤去



フレームリフターを移動。受枠ごと路面より撤去し、開口部を修整・清掃します。

## 5. スパイダーを受枠に取付け



受枠にスパイダーを取付けます。必要に応じてアンカーボルトを設置します。

## 6.内型枠の取付け



スパイダーを路面にセットし、内型枠を取付けます。

## 7.GMモルタルの投入



GMモルタルを混練りし、路面の高い方から流し込みます。(硬化まで15分)

## 8.表層材(MSK)の投入



マンホール蓋及び路面仕上がり範囲をテープで区切り、MSKを投入、コテで均した後、砂をまきます。

## 9.完成



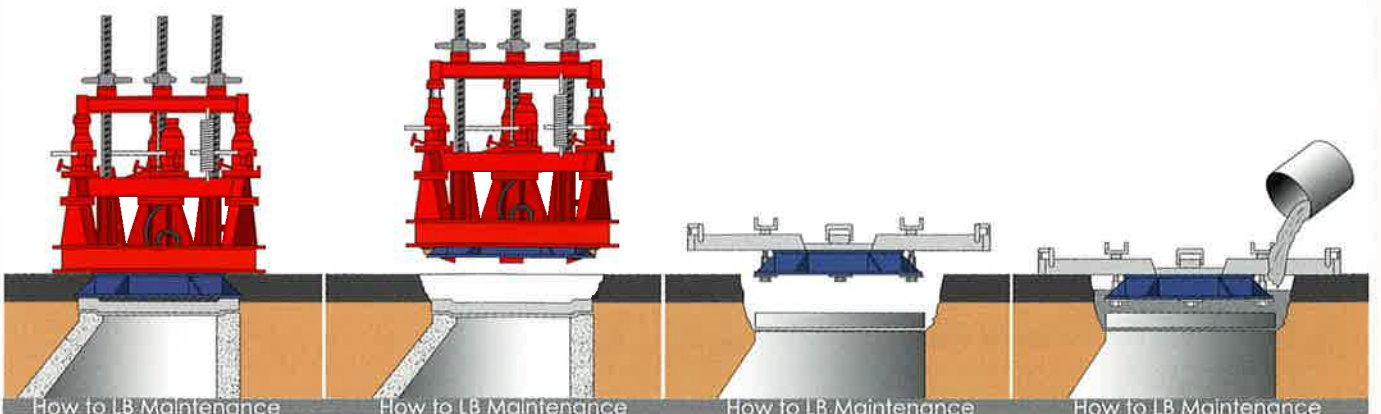
テープを剥がし取り、硬化後完成。

How to LB Maintenance

How to LB Maintenance

How to LB Maintenance

How to LB Maintenance



**LB工法 専用器材**

MAINTENANCE SYSTEM

●フレームリフター

※受枠、躯体等の断面構造により、施工可否がございますので、御確認下さい。



●その他の器具



**LB工法 資材**

MAINTENANCE SYSTEM

●専用基礎材

●特殊常温合材(表層材)



国土交通省新技術活用促進システム(NETIS)登録 (KK-980077)

(社)日本下水道協会会員  
(社)日本下水道管路管理業協会会員

Lift&Build (持ち上げて&組み立てる)  
合理的な鉄蓋のメンテナンスシステム

**[全国LB工法協会]**

(お問い合わせ先) 株式会社イトーヨーギョー (大阪営業部内 LB営業室)  
〒531-0076 大阪市北区大淀中1丁目18-21 TEL.06-6455-2503 FAX.06-6451-8716

※ 商品の色が印刷のため多少異なる場合があります。尚、商品の仕様を予告なしに変更することがあります。